

大和村防災マップ

■ 土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などよく確認しましょう。

■ 土砂災害の種類

土石流危険溪流

- 溪流の勾配が急である。
- 溪流に大きな石がごろごろしている。
- たくさんの土砂が堆積している。
- 上流が山崩れなどで荒れている。
- 過去に土石流があった。



地すべり危険箇所

- 過去に地すべりがあったところで、今も少しずつ動いている。
- わき水や地下水が豊富である。
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある。
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある。



急傾斜地崩壊危険箇所

- 山の傾斜に亀裂やわき水がある。
- 岩石がもろく崩れやすい地質である。
- 過去に山崩れがあった。
- 山崩れがあった場所に隣り合っている。
- 急斜面で、軟弱な地盤がある。
- 水の集まりやすい斜面地形である。
- とときどき落石がある。



知っておこう！3つのポイント

□ 住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」かどうか確認する

自分の家が土砂災害危険箇所にあるかどうか確認しましょう。
※ただし、土砂災害危険箇所でなくても、付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意が必要です。

□ 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

鹿児島県の砂防課などのホームページで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも発表されます。

□ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。

土砂災害警戒区域

(通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域

※イエローゾーンは、地形で決定

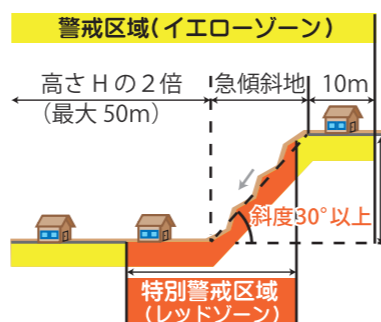
土砂災害(特別)警戒区域

(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

※レッドゾーンは、高さ・斜度・土質等で決定

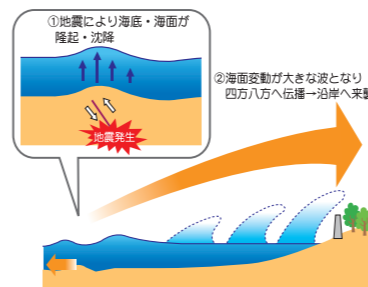
警戒区域・特別警戒区域の指定範囲(急傾斜地の崩壊の場合)



■ 津波について

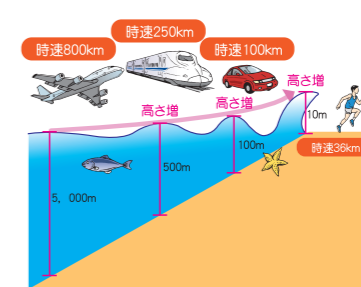
震源が陸地に近いと津波警報が遅れる場合があります。津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は東日本大震災のような巨大津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。

地震・津波の発生



海底で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。

津波の速さ



津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度がおそくなるため、津波が陸地に近づくとつれ、後から来る波が前の津波に追いつき、波高が高くなります。

ポイント 津波情報に注意し、安全な場所に避難する



地震が発生したら、テレビやラジオ等をおして津波情報入手することが大切です。津波の到達時間が満潮時に重なった場合は、発表値より高くなる場合もあります。



津波警報等が発令された場合や強い揺れを感じた場合は、海岸沿いから速やかに高台に避難しましょう。また、津波は第1波より第2波、第3波の方が高くなることもあります。津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除までは気をゆるめないようにしましょう。

■ 避難情報

災害が発生もしくは発生のおそれがある場合には以下のように情報が伝達されます。大雨の際には、テレビ、ラジオ、インターネットなどで河川の水位情報や雨量、洪水警報などの情報を早くから入手し、早めの避難を心がけましょう。

情報伝達経路

※デマに惑わされず、正しい情報入手を!!

大和村

避難情報



- 防災行政無線
- テレビ、ラジオ
- 広報車、消防車両
- 村ホームページ など

村民のみなさん

お問い合わせ先

大和村役場

TEL : 0997-57-2111